

令和4年度 地域福祉コーディネーター リーダー研修会 開催要綱

1. テーマ

住民と協働する個別支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）の役割と活動実践の視点、リーダー養成

2. 趣旨

地域生活課題が複雑化・複合化するなか、地域住民が主体的に地域生活課題の解決に取り組み、相互に助け合える地域づくりを進めることができます。そのためには、住民と協働して支援を必要とする人を発見し、支援調整したり、あるいは新たな仕組みづくりや地域社会への問題提起等に取り組むワーカー（地域福祉コーディネーター）の存在が不可欠です。また、こうした役割を果たすワーカーは、包括的支援体制の構築に向けて、多機関連携や地域づくり、参加支援、アウトリーチ支援等を担う人材としても期待されます。

本研修会は、ワーカーに期待される役割や住民との協働による地域生活課題への気づき、ケースの発見、そして支援の構想における基本的な視点等について学ぶことにより、ワーカーとしての力量の向上や各地域において学びの機会を増やすリーダー養成を目的として開催します。

3. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

4. 日 時 令和4年11月25日（金）10:20～17:00

令和4年11月26日（土） 9:30～15:00

※集合とオンライン併用での開催を予定しております。

会場参集の人数には上限がございます。

5. 会 場 会場参加者（50名）：ビジョンセンター田町 5階 VH ハーフ

（東京都港区芝5-31-19 ビジョンセンター田町）

Web参加者（50名）：Web会議システム「Zoom」

6. 対 象 ○住民と協働して個別支援に取り組む社協職員

（地域福祉コーディネーター、コミュニティソーシャルワーカー、コミュニティワーカー、地区担当職員等）

○都道府県・指定都市社会福祉協議会職員

7. 定 員 100名（先着順／定員になり次第、締切とさせていただきます）
 ※集合50名／オンライン50名を予定しております。
 ※会場参加者を対象に、研修会終了後に交流会を開催します。申込時に出欠の選択をお願いいたします。
8. 参加費 5,000円（税込）
9. 課 題 参加にあたり、事前・事後の課題がございます。別紙「事前課題について」をご確認いただき、期日までの提出をお願いいたします。
 提出先：z-chiiki@shakyo.or.jp

10. 内 容

【11月25日（金）】10:20～17:00 ※集合／オンライン研修併用

10:20～10:30 (10分間)	オリエンテーション
10:30～11:20 (50分間)	講義1「これからの地域福祉コーディネーターの役割」 講 師 同志社大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏 住民との協働による個別支援が求められる社会的背景やその現状、地域の実情、地域福祉コーディネーターの役割等を学ぶ。
11:20～11:50 (30分間)	基調説明「地域福祉をめぐる動向と地域福祉コーディネーターへの期待」 講 師 全国社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉をめぐる施策の動向を知るとともに、社協や地域福祉コーディネーターに期待される役割を学ぶ。
11:50～12:50 (60分間)	昼食・休憩
12:50～13:40 (50分間)	講義2「豊中市におけるコミュニティソーシャルワーカーの役割と活動の実際」 講 師 豊中市社会福祉協議会 事務局長 勝部 麗子 氏 豊中市社協におけるコミュニティソーシャルワーカーとしての実践を通じて、地域福祉コーディネーターの役割や手法を理解する。
13:40～13:55 (15分間)	小休憩
13:55～15:50 (115分間) ※途中休憩を はさみます。	講義3・演習「住民主体の地域づくりを実践するために ～コミュニティオーガナイジングの考え方と実際～」 講 師 東京都立大学 准教授 室田 信一 氏 住民とともに地域づくりを進めるため、コミュニティオーガナイジングの考え方や実践方法について学ぶとともに、グループワークを通じて、地域へのアプローチの仕方について考える。
15:50～16:05 (15分間)	小休憩

16:05～17:00 (55分間)	講義4「事例検討とは一味違うケースメソッド ～リーダーシップを養う討論法～」 講 師 同志社大学 教授 野村 裕美 氏 自分のポジショニングを振り返り、他者視点を獲得することで、共感的理解が広がる事例学習の進め方や留意点を理解する
17:00	閉 会
17:00～18:30	交流会 会場での名刺交換会、講師も交えた交流 ※参加希望者は申込時にご選択ください。

【11月26日（土）】9：30～15：00 ※集合／オンライン研修併用

9:30～14:00 (270分間) ※途中休憩（昼食）あり	セッション「私だったらこの時、どうする？ ～ケースメソッドによる事例学習～」 講 師 同志社大学 豊中市社会福祉協議会 同志社大学 東京都立大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏 事務局長 勝部 麗子 氏 教 授 野村 裕美 氏 准 教 授 室田 信一 氏 参加者の提出課題を素材とし、ケースという状況を借りて疑似体験しながら、相談内容の見立てや住民との協働による支援を構想していくための思考、手法について学ぶ。（60分×3事例）
14:00～14:10 (10分間)	小休憩
14:10～15:00 (50分間)	研修の振り返り・まとめ 助 言 者 同志社大学 豊中市社会福祉協議会 同志社大学 東京都立大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏 事務局長 勝部 麗子 氏 教 授 野村 裕美 氏 准 教 授 室田 信一 氏 研修を通じて、受講者が気づいたこと、学んだことを共有する。
15:00	閉 会

11. 昼 食 1日1個当たり1,200円（弁当／お茶付き・税込）※希望者のみ
(会場参加者のみ) 希望者は申込時に申込サイトにてご選択ください。

12. 交 流 会 無料 ※希望者のみ
(会場参加者のみ) 希望者は申込時に申込サイトにてご選択ください。
なお、感染拡大状況によって、中止とさせていただくことがございます。
あらかじめご承知おきください。

13. 宿 泊 各自でご手配をお願いいたします。
(会場参加者のみ) ※参考として、申込サイトに会場周辺のホテル情報を載せております。

14. 申込方法 下記、専用申込サイトより申し込みをお願いいたします。
<https://www.mwt-mice.com/events/leader2022/login>
申込受付は、令和4年9月14日（水）10時より開始となります。

15. 申込締切 令和4年10月14日（金）〔定員になり次第、締切とさせていただきます〕
※ 事前課題の提出期限も10月14日（金）です。
※ 参加申込と事前課題の同時提出である必要はありません。
※ 定員に達し次第締切とさせていただきますので、参加を希望される方は先に参加申込をお済ませください。

16. 問合せ先

〔研修会の内容に関すること〕

社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部 担当：貴島、末廣

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL.03-3581-4655 FAX.03-3581-7858 E-mail : z-chiiki@shakyo.or.jp

〔参加申込みに関すること〕

名鉄観光サービス(株)MICE センター 新霞が関支店 担当：下枝、富永、柴田

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルL B階

TEL.03-3595-1121 FAX.03-3595-1119

受付時間 平日 10:00～17:00 土日祝日休業

17. 会場のご案内（ビジョンセンター田町）東京都港区芝5-31-19 ビジョンセンター田町

